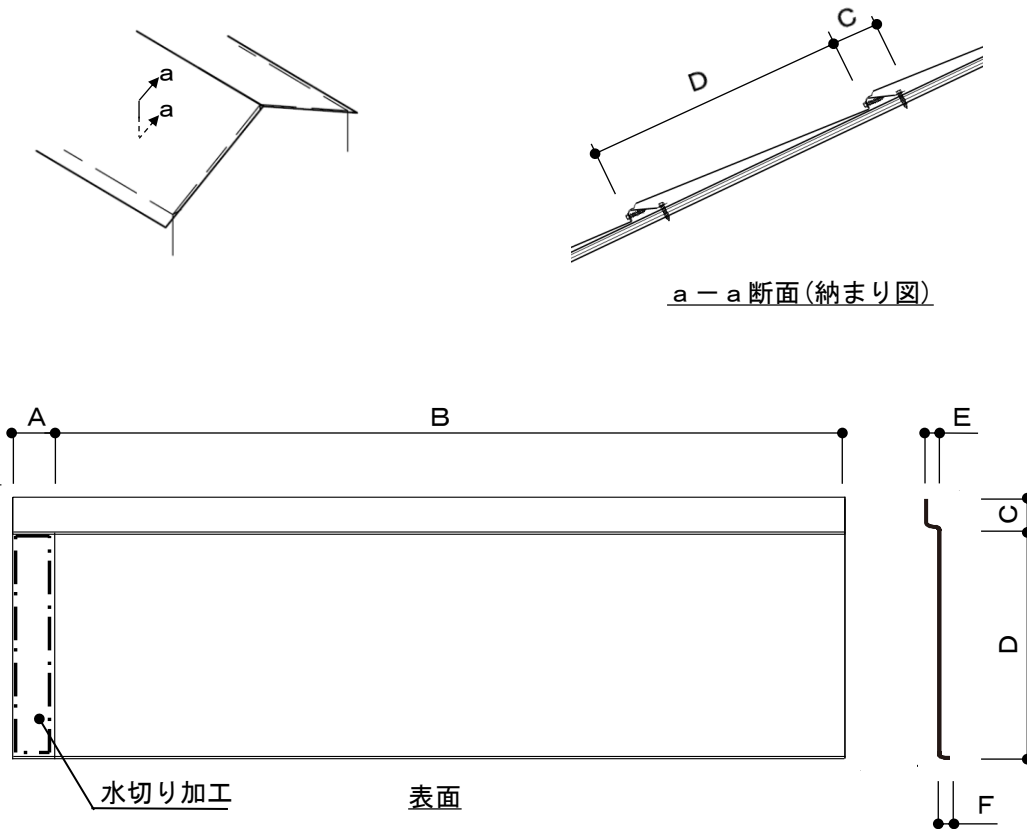


1. 対象部材  
石付き金属瓦

略称：CjK 金属瓦

2. 標準(共通)化の部位  
標準(共通)化の部位を図1に示す。



- A : 重ね幅
  - B : 有効幅(働き幅)
  - C : 重ね長さ
  - D : 有効長さ(働き長さ)
  - E : 水上立ち上がり(製品仕上げ面の段差寸法)
  - F : 水下立ち下がり(製品鋼板裏面から先端までの寸法)
- ※記載している寸法以外(切欠き、ヘミング等)については規定しない。

図1 - 標準(共通)化の部位

### 3. 寸法・形状

図1の各部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	寸法
A：重ね幅	60
B：有効幅(働き幅)	1260
C：重ね長さ	≥40
D：有効長さ(働き長さ)	368
E：水上立ち上がり	16
F：水下立ち下がり	16

### 4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。  
または、“CjK”マークを表示する。

### 5. 特記事項

#### 5.1 躯体側の具備すべき条件

屋根下地、下葺きは、住宅各社の屋根納まりにより大きく影響を受けるため、特に規定をしないが、石付き金属瓦部材を固定するための固定代を確保すること。

#### 5.2 対象の範囲

- ・本基準書は、勾配屋根を対象としており、フラット屋根は対象外とする。
- ・基材鋼板と化粧石材の総厚が3mm程度の製品を対象とする。
- ・材質については、特に規定しない。

#### 5.3 運用上の注意点

- ・石付き金属瓦部材を交換する際は、石付き金属瓦部材と接続する部材との相互の互換性を考慮し部材の選定及び配置を行うこと。
- ・交換に際しては、適切な防水処理及び固定を行うこと。

### 6. 解説

躯体側の大幅な改修を伴わずに容易に、また、連続する石付き金属瓦部材との相互の互換性を考慮して、交換が可能となるように、部材の寸法を定めた。

### 7. 共通事項

#### 7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

#### 7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記)専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。